

令和 7 年 10 月 24 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
守谷市立大井沢小学校（外 8 校）	守谷市教育員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
守谷市立大井沢小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810043/page/frm611c9a74ed19e?tm=20210818143654
守谷市立大野小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810044/page/frm611c93893dfc3?tm=20220422130602
守谷市立高野小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810045/page/frm611cac0dd0f9a?tm=20210818154426
守谷市立守谷小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810046/page/frm611cbd116078f?tm=20210818165709
守谷市立黒内小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810047/page/frm611ccc7badf05?tm=20250513112335
守谷市立御所ヶ丘小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810048/page/frm611cceae2cca5?tm=20220920150840
守谷市立郷州小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810049/page/frm611cd42c59382?tm=20250418221453
守谷市立松前台小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810050/page/frm611cd7b2cd29b?tm=20250513135246
守谷市立松ヶ丘小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810051/page/frm611cdaa95900a?tm=20240501103013

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL・学校関係者評価結果の公表 URL
守谷市立大井沢小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810043/page/frm611c9a74ed19e?tm=20210818143654
守谷市立大野小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810044/page/frm611c93893dfc3?tm=20220422130602
守谷市立高野小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810045/page/frm611cac0dd0f9a?tm=20210818154426
守谷市立守谷小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810046/page/frm611cbd116078f?tm=20210818165709
守谷市立黒内小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810047/page/frm611ccc7badf05?tm=20250513112335
守谷市立御所ヶ丘小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810048/page/frm611cceae2cca5?tm=20220920150840
守谷市立郷州小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810049/page/frm611cd42c59382?tm=20250418221453
守谷市立松前台小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810050/page/frm611cd7b2cd29b?tm=20250513135246
守谷市立松ヶ丘小学校	https://moriya.schoolweb.ne.jp/0810051/page/frm611cdaa95900a?tm=20240501103013

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

- ・ 各実施校の学校ホームページにおいて情報提供を行っている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流機会を充実させ、体験的な活動を通じて外国語や異文化への理解を深めることを目的としている。これにより、自他の文化や価値を尊重し、グローバルな視野や態度を育む学習を推進していく。特に、大規模校にはALTの複数配置を実施しており、小学校第1学年から英語ネイティブティーチャーによる授業を展開している。この取り組みにより、児童全体として生きた英語に触れる機会や、実際に英語でコミュニケーションを図る機会が大幅に増加するという成果が得られている。

その一方で、児童の英語を用いたコミュニケーション能力が具体的にどの程度身に付いているのかを客観的に把握しづらいという点が、今後の課題となっている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している守谷市内の全ての小学校において、児童の90%以上が「英語活動の時間が楽しい」と回答している。これは、児童の間で外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重しようとする態度の素地が形成されていることを示している。また、本特例が14年目を迎える本市では、継続的な取り組みの成果として、中学校第3学年の生徒の卒業時における実用英語技能検定（英検）の取得率が、高い水準で推移し

ている。（令和 6 年度：60.4%、令和 5 年度：57.6%、令和 4 年度：56.2%）これは、本特例の継続的な実施による顕著な成果である。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3（1）で示した課題を踏まえ、本特例の改善として、小学校段階の外国語カリキュラムの具体的かつ系統的な見直しを図る。この改善にあたっては、本市の特色である小中連携体制を最大限に活用し、中学校英語科教員と連携して小中学校の 9 年間を見通した一貫したカリキュラムの見直しをしていく。さらに、オンライン英会話や AI スピーキングテストなどを通して、児童のコミュニケーション能力の充実を目指し、市内外の学校との外国語による交流活動や発表の場を積極的に設定するなど、体験的な活動の質を高めるための工夫を重ねていく。